

平成18年度日本物理療法学会評議員会議事録

日 時：平成18年10月14日（土）

場 所：郡山健康科学専門学校7F会議室

参加者：加地・川村・木村・菅原・中山・藤原・両角・山本・山元・吉崎

1. 会員動向報告（平成18年10月11日 現在）

<一般会員> 310名

平成18年度分納入者 109名（うち新入会：3名）

平成17年度分納入者 30名

平成16年度分納入者 5名

平成15年度分納入者 1名

平成14年度分納入者 0名

学生 1名

計 146名

<賛助会員> 12社

平成18年度分納入社 4社

：会員ならびに賛助企業からの会費納入率が低すぎるため、今年度中に再度催促の通知を発送するなどして、納入率を高めること、さらに養成校に学会誌を送付する際に会員募集のポスターを同封することで新入会員数を増やす工夫も併せて行うこととなった。

2. 平成18年度事業報告

①日本物理療法学会学術集会2006について

大会長の吉崎先生よりご挨拶と報告がなされた。

②PT協会褥瘡対策委員会との活動について

会長より、4月札幌・10月郡山・11月佐賀・1月大宮にて研修会が実施され、今後もPT協会ならびに日本褥瘡学会との関係を保ちながら引き続き活動をしていく旨、報告された。

3. 平成19年度予算案及び事業報告（別紙）

①平成19年度予算について（暫定予算）

予算の中に、川村先生の提案に伴う経費についても含めた方がいいとの意見が出され、次回評議員会までに事務局から案を提出する運びとなった。

②日本物理療法学会学術集会2007について

大会長の中山先生より、平成19年10月13・14日に福岡リハビリテーション専門学校において開催予定である旨、報告がなされた。なお、具体的な案については今年の12月下旬までに作成し、評議員にメールにて報告されることとなった。

4. その他

①学術集会2008について（候補地選び）

2008・2009年学会を高知リハ学院・山本先生、信州大学・木村先生にお願いすることとなった。どちらが先かについては双方の話し合いで決定される予定。なお、2008年にACPTが日本で開催される予定であるため、場合によっては同時開催も視野に入れ、検討していくこととなった。

②役員選挙について

評議員立候補者（別紙）すべてが承認され、総会の承認をもって最終決定される運びとなった。なお、会長職は神奈川県立保健福祉大学の川村先生、事務局長は同大学の内田先生が選出され、川村先生から副会長等、他の役職が指名された。

*本件は15日総会において承認された。

③川村先生提出議題

方向性として非常に重要であることが確認されたが、予算的な側面で問題が生じる。そのため、PT協会専門領域研究部会とのタイアップやジャプテッドの活用などについて今後煮詰めていく方向性となった。また、これらを踏まえ19年度予算に経費を組み込んでいくこととなった。

④投稿規定の改定について

菅原編集委員長より、投稿規定の改定案が提示され、承認を受けた。また、鈴木先生の評議員退任により編集委員会に山元先生・木村先生さらに英文投稿に対応していくため、Goh先生が新たに編集委員として加わって頂くこととなった。

以上